

## 履修における注意事項（平成26年度入学者 昼間コース）

- ★ 履修しようとする科目について、シラバスで事前にその内容を確認してください。シラバスには科目ごとに、授業の概要、授業方法、授業内容、教科書、成績評価方法などが記載されています。シラバスはNU-Webシステムから閲覧できます。
- ★ 履修登録は指定された期限までに、NU-Webシステムで必ず行ってください。また、登録内容に間違いがないか必ず確認してください。履修登録が正しく行われていなければ、授業や試験を受けても単位は認定されません。NU-Webシステムによる履修登録方法は、文教キャンパスの教養教育オリエンテーションの中で行われた通りです。
- ★ 学部モジュール科目や学部共通科目の一部には2クラスに分かれて授業を受ける科目があります。学生番号によって履修登録・受講する教室が指定されており、卒業するまで固定されています。
  - 本館21 学生番号の下3桁が150番未満の昼間コース学生
  - 本館22 学生番号の下3桁が150番以上の昼間コース学生、夜間主コース学生、編入学生
- ★ 授業の出席確認は、講義室等に設置されたICカードリーダーにICカード（学生証）をかざすことによって行います。ICカードリーダーが配置されていない演習室や、授業担当教員が直接出席確認を行う場合もあります。授業に毎回必ず出席し、しっかりと講義ノートを作成し、また十分に予習・復習を行うことが大切です。
- ★ 昼間コースの授業は文教キャンパスと片淵キャンパスに分かれて行われ、両キャンパス間の往復に時間がかかるため、3年次以降の教養教育科目と専門教育科目の同時並行履修はきわめて困難です。3年次に始まる就職活動にも影響が出てきます。教養教育科目は、規則上は卒業までに修得すればよい科目ですが、2年次末までに確実に修得することを強く勧めます。
- ★ 国際ビジネス（plus）プログラムの参加を希望する学生は、教養教育の全学モジュールテーマ選択の際に、指定されたテーマから選んでください。7月頃に実施する説明会に必ず参加してください。
- ★ 教員免許の取得を希望する学生は、4月初めに実施する説明会に必ず参加しなければなりません。この説明会に参加しなければ教職科目の履修は認められません。

1年次生は、月～水は文教キャンパスで、木・金は片淵キャンパスで授業を受講します。

## 卒業延期（留年）を防ぐために——よくある留年パターン

**パターン1：授業に出席しない、単位を修得できない。** →1年次のうちに登校しなくなる。

継続的に出席しなければ授業についていくことはできません。

また、過度の、とくに深夜の時間帯のアルバイトを行うと、履修上困難をきたすことがあるので極力避けてください。

**パターン2：希望するコースに入ることができない。** →2年次から登校しなくなる。

履修コースの配属は、1年次前期の成績と本人の希望により決まります。成績次第では希望するコースに入ることができず、学習意欲をなくしてしまいがちです。

**パターン3：教養教育科目の最低修得単位を修得できない。** →3年次以降登校しなくなる。

片淵キャンパスと文教キャンパスの往復には時間がかかるため、3年次以降の専門教育と教養教育の同時並行履修はきわめて困難です。

**パターン4：希望するゼミに入ることができない。** →3年次以降登校しなくなる。

自分の希望するゼミ（専門ゼミ・卒研ゼミ）に所属できない場合、学習意欲が低下するとともに卒業論文を書くことも困難になってしまいます。

**パターン5：演習履修要件を満たせない。** →1年間以上の卒業延期（留年）が確定する。

2年次終わりまでに演習（ゼミ）履修要件を満たすことができず専門ゼミを履修できないと、4年間での卒業はできないこととなります。

**パターン6：考査での不正行為** →1年間以上の卒業延期（留年）の可能性が高くなる。

試験やレポートでの不正行為は、当該学期の授業科目の単位が与えられないほか、訓告、停学、退学等の処置が行われることがあります。

履修に関して不明な点があるときは、教養教育については文教キャンパスの教養教育事務室に、専門教育については経済学部学務係窓口にお問い合わせください。経済学部学務係は本館1階にあります。

大学から学生に対する通知・連絡などは学務係およびNU-Web上の掲示板を通じて行われます。通学時に必ず1日1度は掲示板を確認するよう心掛けてください。また、経済学部ホームページ（在学生の皆様へ）にも基本的な情報を掲載していますので、有効に利用してください。

<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/>

# 昼間コースの標準履修体系

平成26年度昼間コース入学者用

		1年		2年		3年		4年	
		月～水:文教／木・金:片淵(経済学部)		月～水:片淵(経済学部)／木・金:文教		片淵(経済学部)			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>授業科目区分(最低修得単位数)*2</b>									
教養教育科目	文教	教養ゼミナール科目(2単位)		2単位		所属コース			
		情報科学科目(2単位)		2単位					
		健康・スポーツ科学科目(2単位)		1単位				1単位	
		外国語科目 英語(6単位)		2単位				2単位	
		初習外国語(4単位)		1単位				1単位	
		全学モジュールⅠ科目(6単位)		6単位					
		全学モジュールⅡ科目(6単位)						6(～10)単位	
	文教	学部モジュール科目(8単位)		6科目12単位					
		自由選択科目(4単位)		4単位					
専門教育科目		学部共通科目(16単位)		3科目12単位		3科目8単位			
		コース科目(36単位)		*2 (2科目☆4単位)		○単位 *2 ○単位		○単位 ○単位	
		演習(8単位)		GSR短期海外研修☆2単位 *2		基礎ゼミ☆2単位 *2		*2 専門ゼミ☆4単位	
		自由専門科目(26単位)*2		経済数学入門演習☆1単位		留学生との共修ゼミ☆2単位 *2		卒研ゼミ☆4単位	
<b>履修登録上限単位数*1</b>		46単位		48単位		40単位		40単位	
	教養教育科目	___単位		___単位		___単位		___単位	
	専門教育科目	___単位		___単位		___単位		___単位	
<b>標準修得単位</b> ※自由専門科目への振替は考慮しない場合									
	教養教育科目	20(～24)単位		10(～14)単位		4(～6)単位		4(～6)単位	
	(うち外国語科目)	(うち3単位)		(うち3単位)		(うち2単位)		(うち2単位)	
	専門教育科目	1単位		12(～18)単位		34(～42)単位			
<b>履修上の注意</b> ※詳細は学生便覧「履修体系」の説明や学部規程参照					<b>専門ゼミ(必修)・卒研ゼミ(必修)の履修</b>				
*1 科目名に☆の付いた科目や集中講義(臨時開設科目に限る)は履修登録上限単位数に算入しない 一定の条件(1年間に40単位以上修得し、GPAが2.8以上)を満たせば、翌年度に上限を超えて登録できる					・専門ゼミの履修要件: 教養教育科目の修得単位数が28単位以上(外国語科目8単位以上を含む) 専門教育科目の修得単位数が20単位以上				
*2 「最低修得単位数(卒業要件)」や「自由専門科目」については、別資料参照					・卒研ゼミの履修要件: 卒研ゼミを履修するためには専門ゼミの単位を修得していなければならない				
*3 国際ビジネス(plus)プログラム科目は、国際ビジネス(plus)プログラム参加者の履修が優先される					・専門ゼミと卒研ゼミは、原則として同一の指導教員の下に履修する				
<b>所属コースの決定</b> ※詳細は学生便覧「履修体系」の説明や学部規程参照					・卒研ゼミの単位認定は指定期間内に提出した卒業論文によって行われる				
1年次前期の成績と希望により、1年次後期に決定									